



平成 30 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社キムラタン  
代表者名 代表取締役 浅川 岳彦  
(コード番号 8107 東証第 1 部)  
問合せ先 常務取締役 木村 裕輔  
(電話 078-332-8288)

平成 31 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異  
及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

平成 30 年 5 月 11 日に公表いたしました、平成 31 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）の業績予想値と実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。また、最近の業績動向等を踏まえ、平成 31 年 3 月期通期（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 31 年 3 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想値と実績値との差異（平成 30 年 4 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日）

|                                            | 売上高          | 営業利益        | 経常利益        | 親会社株主に<br>帰属する<br>四半期純利益 | 1 株当たり<br>四半期純利益 |
|--------------------------------------------|--------------|-------------|-------------|--------------------------|------------------|
| 前回発表予想 (A)                                 | 百万円<br>2,000 | 百万円<br>△220 | 百万円<br>△230 | 百万円<br>△235              | 円 銭<br>△2.44     |
| 今回実績値 (B)                                  | 1,742        | △298        | △310        | △320                     | △3.14            |
| 増減額 (B - A)                                | △257         | △78         | △80         | △85                      | —                |
| 増減率 (%)                                    | △12.9        | —           | —           | —                        | —                |
| (ご参考) 前期第 2 四半期実績<br>(平成 30 年 3 月期第 2 四半期) | 1,880        | △214        | △228        | △230                     | △2.59            |

2. 平成 31 年 3 月期通期連結業績予想の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

|                              | 売上高          | 営業利益        | 経常利益        | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|------------------------------|--------------|-------------|-------------|-------------------------|-----------------|
| 前回発表予想 (A)                   | 百万円<br>4,900 | 百万円<br>△170 | 百万円<br>△190 | 百万円<br>△200             | 円 銭<br>△2.08    |
| 今回修正予想 (B)                   | 4,500        | △260        | △280        | △290                    | △2.72           |
| 増減額 (B - A)                  | △400         | △90         | △90         | △90                     | —               |
| 増減率 (%)                      | △8.2         | —           | —           | —                       | —               |
| (ご参考) 前期実績<br>(平成 30 年 3 月期) | 4,325        | △387        | △424        | △469                    | △5.11           |

### 3. 第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異の理由

当第2四半期の売上高は、記録的な猛暑や豪雨などの災害の影響もあり、夏物販売が伸び悩んだ結果、既存店の売上高は低調な推移となり前期実績を下回る結果となりました。一方、ネット通販の売上高は前年同期比で伸長し、新テナントショップの新規出店による増収がありましたが、計画値には至りませんでした。以上の結果、第2四半期累計期間の売上高は前回予想を下回る結果となりました。

売上高が予想値を下回ったことと、持越し在庫の販売による値下げ販売比率が計画より高まったことにより、営業利益は前回予想を下回る結果となり、それに伴って経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は各々予想を下回りました。

### 4. 通期業績予想の修正の理由

当第2四半期の業績を踏まえ、このような結果を深く反省するとともに、黒字化計画の達成に向け、新たにさらなる固定費の削減、製造原価率の低減、運送費の上昇への対策等の施策を策定し、上期の落ち込みの挽回に全力で取り組んでまいります。しかしながら、当第2四半期の業績と市場環境等を勘案し通期の業績予想を修正いたします。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上